



## 一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

### 各地区安管協会の活動紹介

#### 「交通死亡事故現場診断」を実施（令和4年2月中）

沼津地区、三島地区の安全運転管理協会は、それぞれ地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、本年2月中に、管轄警察署の「交通死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

#### 【沼津地区】

2月2日（水）、沼津警察署の呼び掛けで、沼津市役所、県土木事務所、自治会、安協沼津地区支部等の関係団体とともに、沼津地区安全運転管理協会から加藤会長と事務局長の2人が参加、合計23人により

1月25日（火）夕方、沼津市平沼地先の主要地方道で発生した交通死亡事故（普通乗用車2台と自転車との衝突事故、1台目に衝突された自転車が対向車線へ跳ね飛ばされて2台目と衝突したもので、自転車で走行中の54歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の直線道路で、最初に信号交差点の直前で衝突しており、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 道路は路側帯のみのため、歩道や自転車通行帯の設置を検討
- 夕刻以降、交差点周辺の視認性確保のため、広範囲に街灯の設置を検討
- 自転車利用者に対する注意喚起として、各団体で交通安全広報を実施

など、活発な意見が出されました。



【事故現場の状況】



【現場診断、事故防止対策協議の状況】  
（写真中央、オレンジ上着が加藤会長）

## 【三島地区】

2月25日(金)、県警交通部及び三島警察署の呼び掛けで、三島市役所、県土木事務所、三島市交通指導員会、自治会、安協三島地区支部等の関係団体とともに、三島地区安全運転管理協会から大川副会長と事務局員の2人が参加、合計20人により、1月27日(木)の夕方、三島市市山新田地先の国道で発生した交通死亡事故(大型トラックと軽四乗用車の正面衝突事故、軽四乗用車の70歳代男性が死亡)の交通死亡事故について現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の交通量の多い国道上で、現場付近はゆるくカーブしており、現場診断及び交通事故防止対策を検討した結果、

- 反対車線にはみ出さないよう、道路中央にセンターポール等の設置を検討
- カーブしている道路脇の竹やぶで見通しが悪くなっているため、竹やぶを刈り取るように関係者へ働き掛け
- 通行車両や通行人等に対し交通死亡事故発生を注意喚起する広報活動を実施など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【三島署交通課員の事故状況説明】



【事故発生現場の確認】



【現場診断の状況】  
(右カーブの見通し状況)



【参加者による事故防止対策検討会】  
(写真中央、紺色上着が大川副会長)